



先端技術を用いた「やさしい未来都市・東広島」  
実現のためのコンセプトと取組  
－東広島市スマートシティ構想の概要－

2021年1月13日

東広島市 政策企画部 政策推進監

# SDGs・Society5.0とスマートシティ

## 経済発展と社会的課題の解決を両立するSociety5.0へ

近年、我が国では、IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった先端技術を産業や社会生活の様々な場面で活用する取組が進められており、経済発展と社会課題の解決を両立していく新たな社会である「Society5.0」の実現を目指しています。

## Society5.0 for SDGsとスマートシティ

一方、世界に目を向けると、2050年には、世界人口の約7割が都市に住むと言われており、都市には解決すべき社会課題が集積していくこととなります。

こうした社会課題の解決手段として、ヘルスケア、モビリティ、エネルギー、キャッシュレス等、様々な領域で、データ、AI、IoT、ロボット等のデジタルテクノロジーの活用が提案されています。

「SDGsに示される社会課題」×「Society5.0で提案されるテクノロジーによる社会課題の解決」、こうした社会課題を先端技術を用いて解決していく都市「スマートシティ」の実現が求められています。

## 社会課題 × 先端技術による解決 for SDGs (Society5.0)



スマートシティ



## 取組を進める上での特長・課題

### 市の特長・課題

スマートシティでは、社会課題を先端技術を用いて解決していく取組が求められます。東広島市が抱えるまちづくりの特長や課題は次のようなものがあります。

#### ○特長

①大学の集積等による知的資源が豊富、②高い教育力、③豊かな自然環境、④90か国を超える外国人市民

#### ○課題

①特定の産業に依存する産業構造、②学生・若者の転出・低い市内就職率、③市民満足度の低い公共交通、④周辺地域の活力低下・人口減少

#### ○最近の新たな動向

東広島市には90を超える国から約8,000人の外国人市民が暮らしており、その在留資格も留学・永住者・技能実習など多彩です。こうした中、2020年には広島大学とアリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院が共同で、同大学院の広島大学グローバル校を広島大学キャンパス内に設置。今後約1,000人もの学生が東広島で学び、創造性豊かに暮らすことになり、多様性が更に増していくことが想定されています。

## 東広島市の取組

### SDGs・Society5.0の各種計画への反映

こうした中、東広島市でもSDGsやSociety5.0に関わる計画を策定し、取組を進めようとしています。

#### ○第五次東広島市総合計画

「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」を将来都市像に掲げています。この将来都市像を実現するための方向性の一つとして「未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」の形成」を位置付け、ICT等の利活用による地域の活性化に取り組むとともに、産業の活性化と市民生活の質的向上を図ることとしています。

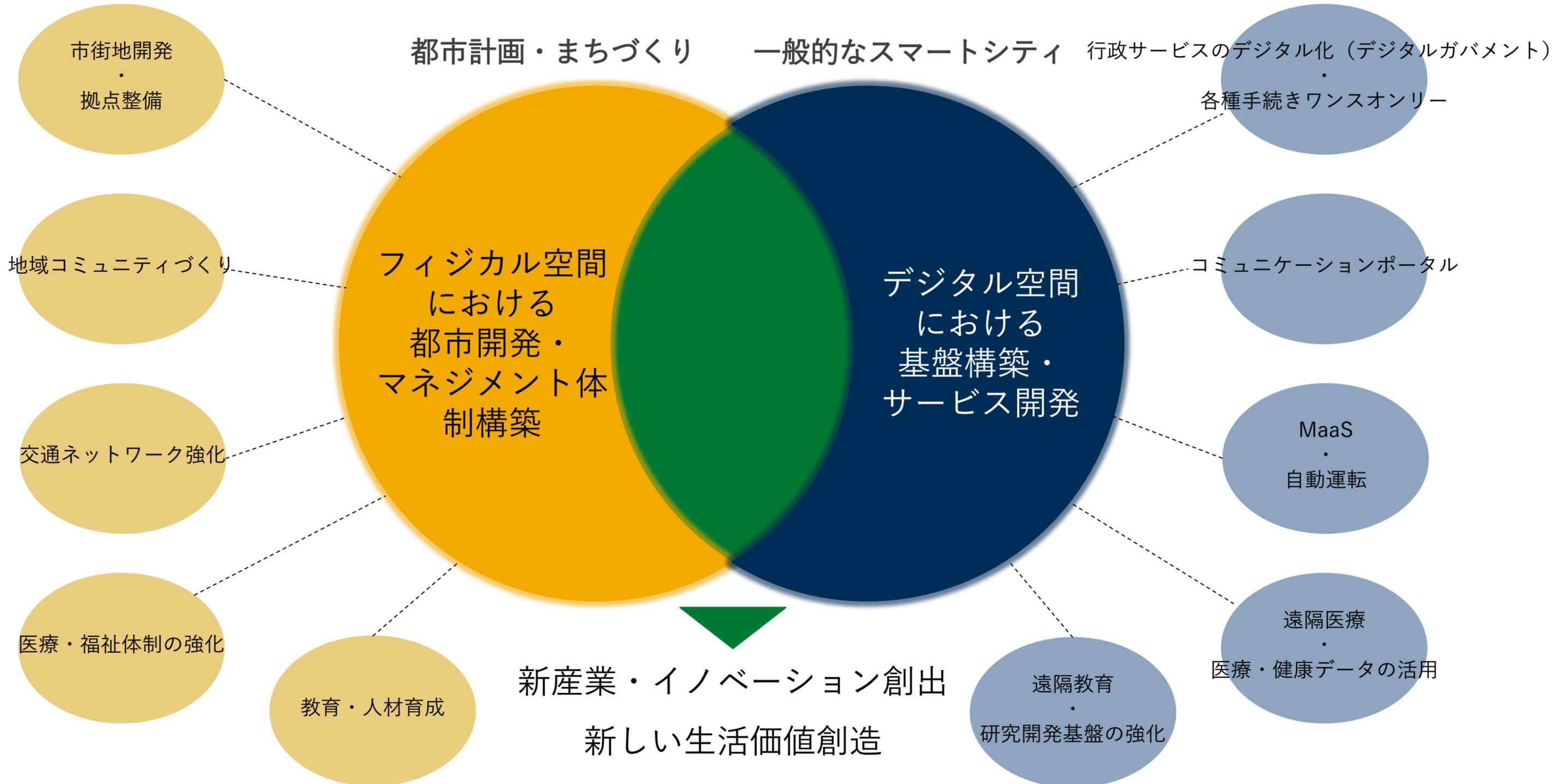
#### ○東広島市SDGs未来都市計画

2030年の目標として、市民生活の中で実装された先進技術や集積された人材が創出するイノベーションによる地域の「課題解決先進都市」の実現を目指し、そのあるべき姿として、①イノベーションが生まれ、働きがいのあるまち、②学生や外国人が定着し、活躍するまち、③質の高い教育を受けられるまち、④環境に配慮し、持続可能で住みやすく住みたくなる先端技術のまちを掲げています。

#### ○その他の各種計画

「環境」をキーワードに、市民・事業者・行政が協働で互いの特長や強みを活かしながら取組を進めることとしている「東広島市環境基本計画」「東広島市環境先進都市ビジョン」や、国際化・多文化共生の推進に向けた取組に関する「第3次東広島市国際化推進プラン」など、各種の計画にSDGsやSociety5.0の考え方が反映されています。

# 東広島市版スマートシティ構築の考え方





## Society5.0 for SDGsの考えに基づき 「市民のしあわせ」(Well-Being)を最大化

東広島市ならではの特徴を活かした多様・多才なコミュニティを形成し、DX等を通じて、そのコミュニティの間に多様なつながりをつくることで、東広島ならではの“まち・ひと・しごと”それぞれの持続的な発展・成長を可能にする楽しく、豊かな新しい暮らし方の実現と、それを支える共助の仕組みを構築します。

### イノベーション創造 (集積する学術研究機能)

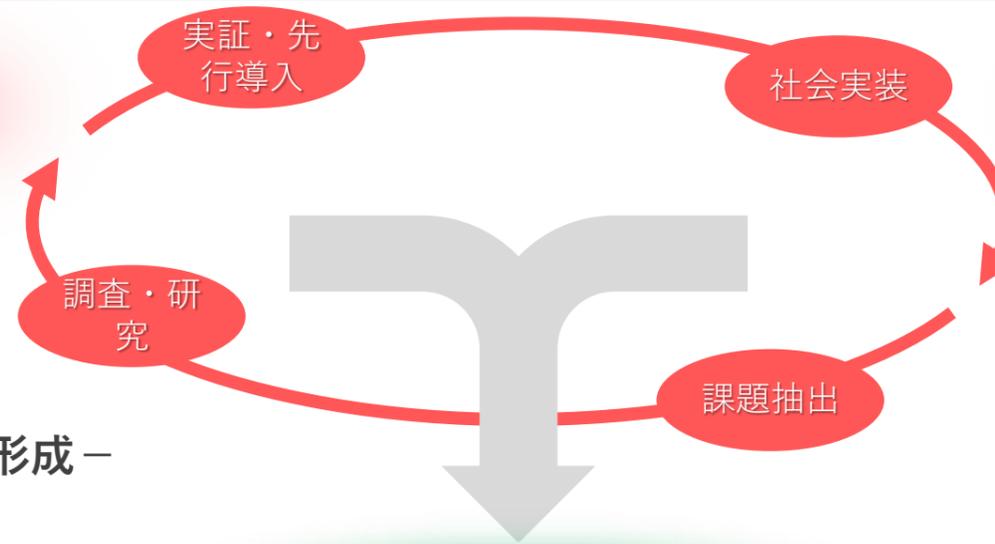
世界から多様な人材を呼び込み、革新的な技術やアイデアを創出するイノベーション創造のまちへ

—広島大学を中心とした新たな都市機能の形成—

### 生活価値創造 (豊かな自然環境)

コミュニティの課題を解決し、様々なつながりを通じた豊かな暮らし方ができる生活価値創造のまちへ

—生活者との地域共創の実現—



### 市民タッチポイント

子育て層

子ども

高齢者

学生

留学生

外国人

転入者

先行PJ

行政手続き

移動

子育て

教育

医療・健康

新たなプロジェクト

「やさしい未来都市・東広島」を実現するため、デジタル技術を基礎として、先行して5分野にサービスを展開します。各分野における取組は以下の通りとなります。



## 行政手続き

手続きのオンライン化が進み、手続きに関する利便性の向上と事務の効率化が実現



## 移動

一人一人の移動ニーズに対応した安全で効率的な人の移動や物の移動を実現



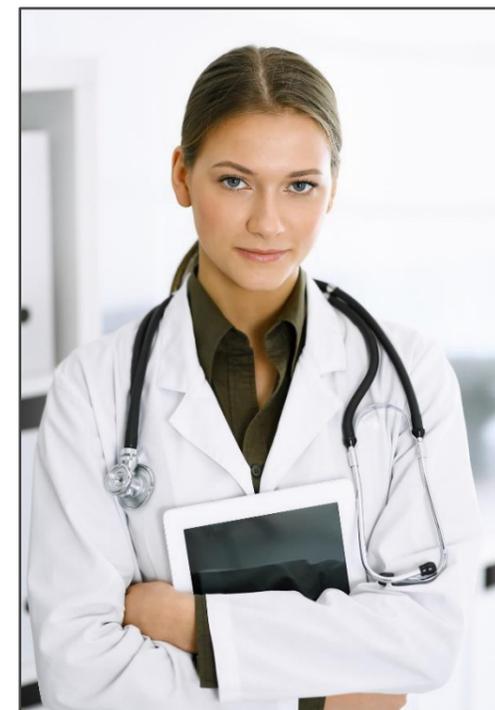
## 子育て

子育てに必要な情報や手続き・サービスがプッシュ型で提供され、手軽・確実なアクセスが実現



## 教育

個別最適化学習が行われ、世界とつながりグローバル化社会で通用する人材の育成が実現



## 医療・健康

医療機関や介護機関での情報共有や地域を越えた個々に最適なサービスの提供が実現

## デジタル技術

データ連携を通じ、分野内、さらには分野の枠を超えて活用可能なデータを最大限活用するとともに、新技術を組み合わせることにより、社会全体の最適化と利便性の向上を目指す。データを円滑に連携させ、次世代の社会インフラの基礎となるデータプラットフォームの社会実装が加速化